

科目名	地域子育て支援Ⅱ				担当	千葉 直紀・関 裕子・ 多田 幸子・川島 良雄		
形態	演習	単位数	1	開講時期	2年後期	実務経験	保育所勤務経験あり（千葉・関）	
必修	保育士：選択必修 レク：選択必修				ナパリング	Y3204	DPとの関連	4
授業概要	「地域子育て支援Ⅰ」の講義内容を元に、地域における子育て支援を取り巻く環境に関する理解を深め、各領域における実践を体系化させていく。子どもや家庭が抱える問題を表面的に理解するのではなく、地域や社会との関わりの中から捉え、子どもの成長過程において想定される問題や子どもを取り巻く問題の背景理解と必要となる支援についての考察を深める。							
到達目標 学習成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域の子育て支援活動への参加を通して様々な子育て支援の形態を学ぶ</li> <li>2. 地域の子育て支援活動での企画、準備、運営を通して、地域が求める子育て支援について理解を深める</li> <li>3. 子どもと家庭を取り巻く社会資源とその活用方法について理解する</li> </ol>							
授業計画	回	内容						
	1	ガイダンス	地域子育て支援Ⅰの振り返り					
	2	地域子育て支援活動への参加準備	地域の子育て支援活動の趣旨を理解する					
	3	活動の準備①	教材研究を含めて制作を行う					
	4	活動の準備②	活動の実践と当日準備の構想					
	5	活動の準備③	企画参加への最終確認					
	6	活動への参加①	企画へ参加を通して地域の子育て支援の在り方を考察する					
	7	活動への参加②	企画へ参加を通して地域の子育て支援の在り方を考察する					
	8	地域子育て支援活動の振り返り	グループごとに報告を行う					
	9	エコマップの作成	実習から地域の子育て支援について概観し、エコマップ等を用いながら社会資源との関連を探る					
	10	社会資源の実際①	民生委員等の活動や役割について学ぶ					
	11	社会資源の実際②	NPOなど地域子育てに関連する活動や役割について学ぶ					
	12	社会資源の実際③	社会福祉協議会などの地域の中核となる施設の活動や役割について学ぶ					
	13	社会資源の現地調査	社会福祉資源について現地に出向き調査を行う					
	14	社会資源の実際を振り返る	現地調査から報告を行う					
15	まとめ	地域子育て支援について総合的に理解し、それぞれの現場で活用できるように体系化を図る						
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域の子育て支援活動への参加を通して様々な子育て支援の形態について理解できている</li> <li>2. 地域の子育て支援活動での企画、準備、運営を通して、地域が求める子育て支援について理解できている</li> <li>3. 子どもと家庭を取り巻く資源とその活用方法について説明できる</li> </ol>							
評価方法	レポート 40% その他 60%							
フィードバック 方法	子育て支援イベントの企画構成または実践に対する講評							
アクティブ ラーニング	グループワーク、プレゼンテーション、子育て支援企画の計画と実践							
教科書	特になし							
参考書	必要に応じて資料を配布する							
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域子育て支援Ⅰ」を受講していること</li> <li>・積極的に学外学習に参加し、子どもや保護者とコミュニケーションを取る機会を作る</li> <li>・学外授業を含むため、交通費、イベント準備に自己負担が発生する場合がある</li> <li>・イベント等への参加においては内容や時期の変更の可能性もある</li> </ul>							
授業外学習	事前学習：周産期～学童期を見据えた子ども家庭支援と地域とのつながりについて社会の実情を把握し、子育て支援との関連について考察する（各回 30分） 事後学習：企画の構想や参加に関する準備や作業等（各回 1時間）							
オフィスアワー	各担当教員のオフィスアワーを確認すること							